



志木二小だより

令和元年10月号

志木市立志木第二小学校

志木市館1丁目2番1号

TEL 472-0540

学校教育目標 **進んで学ぶ子 心の豊かな子 体をきたえる子**

児童数	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	たんぽぽ	9/24現在	昨年同時期
	75	95	71	77	86	100	13	517	536



歴史に学ぶ ～ 先人からのメッセージ ～

校長 齋地 満

9月10、11日に日光へ修学旅行に行ってきました。台風15号による天候の影響が心配されましたが、好天に恵まれ、東照宮の拝観をはじめ、中禅寺湖の遊覧船観光や戦場ヶ原ハイキング等、充実した2日間を過ごすことができました。また、しっかりと話を聞く6年生の態度に最高学年としての自覚を感じました。小学校生活で心に残る思い出ができたと思います。

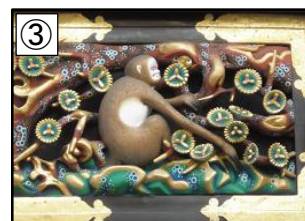
さて、はじめに訪れた日光東照宮では、眠り猫や鳴き龍、陽明門、家康の墓などをグループごとに巡り、歴史に思いを馳せました。なかでも、多くの観光客が集まっていた三猿は、「見ざる、言わざる、聞かざる」を指しますが、他の彫刻と合わせて、人間の正しい生き方を描いていると言われています。参道側5面の彫刻についての解説がありましたので、簡潔に紹介します。



《赤ん坊の時代 写真①》 親猿が、子どもの将来を見つめています。親は子どもの将来が実りあるものであることを祈り、子どもは親に愛されて成長するということを示しています。



《幼少期 写真②》 「見ざる、言わざる、聞かざる」の三猿です。幼いうちは、純真で周囲の影響を受けやすい。だから、世の中の悪いことは見聞きせず、悪い言葉も使わず、よいものだけを与えよという教を示しています。



《独り立ち 写真③》 腰を落ち着けて、将来を考えています。しっかりと自分の将来を考え、独り立ちしなければいけないということを示しています。

《青年期 写真④》 二匹の猿が上方を見上げています。若いうちは、志を大きく持って高い所を目指しなさいということを示しています。



《友情・挫折 写真⑤》 (左) 挫折を知り、崖を覗き込む猿と慰める猿、(右) 崖を飛び越えようとする猿です。挫折を知り、落ち込んだときに大切なのは慰めてくれる仲間です。仲間がいれば、また立ち上がって崖を飛び越えられます。人生を生きていく中で、仲間は大切だということを示しています。



小学校は、赤ん坊、幼少期を経て、独り立ちの時を迎えています。子どもたちは、周りの人の支えがあって、自分自身を見つめ、成長していきます。そして、仲間です。みんなで協力し、喜びを分かち合うことのできる経験や一緒によりよい方法を考えて課題や問題を解決していく力を身につけていくことが大切です。今に伝わる先人の教えを胸に、学校と家庭との両輪で取り組んでいきたいと思ひます。